

北区伝統の 神楽・獅子舞

現在、18の神楽・獅子舞が活躍しています。今も各地に残る神楽や獅子舞は貴重な文化遺産です。



石動神社に奉納される正尺の神楽(葛塚まつり)

※神楽の奉納日は、変更になる場合がありますので事前にご確認ください。

	神楽舞名 獅子舞名	奉納日 (舞う日)	会場	創立年代・伝承由来
岡 方 地 区	高森の神楽 (市指定文化財)	5月9日 10月9日	高森薬師堂 稲荷神社	1705(宝永2)年、高森薬師再興の際に、京都の仏師、辰巳蔵之助より伝授されたと伝わっています。
	太子堂の神楽	4月下旬の土曜 10月第1土曜	上宮社	天正年間(1573~1592)、加賀から移住した先祖が持参したと伝わっています。
	大久保の神楽	4月中旬の土曜 8月下旬の土曜	神明社	1856(安政3)年に獅子頭を寄進したことを示す木札があります。昭和50(1975)年代に復活。
	長戸呂の神楽	4月19日 8月15日	神明宮	一説に、地元の有力者高橋半助が若い衆の娯楽などのためにお頭、剣等を新調したのが始まりといわれ、寛政年間(1789~1801)に盛んだったと伝わります。2018(平成30)年に復活。
	大瀬柳の神楽	8月最終土曜	諏訪神社	一説には天保年間(1830~1844)に悪病が流行し、悪魔払いのため、旅人から習い伝えたと伝わっています。明治初期の始まりという説もあります。
長 浦 地 区	長場の神楽 (市指定文化財)	8月第3土曜 ・日曜	神明宮	いつの頃か、悪魔払いのため勘兵衛が始めたとの説や、1894(明治27)年頃に若者の非行を防ぐために創設されたとの説があります。
	内沼の獅子舞 (市指定文化財)	8月30日 31日	内沼神社	1732(享保17)年に綿向神社を建立した沢村六郎兵衛の干拓成就を願って安宅山12世が伝えたとも、1743(寛保3)年に移住してきた横越津梁庵3代目の僧、順応が伝えたともいわれています。
	内沼の神楽 (拝領地神楽)	8月30日 31日	内沼神社	獅子頭が享保年間(1716~1736)からあったともいわれ、1861(文久元)年に内沼で神楽と獅子舞が舞われていたことを示す古文書があります。
	長戸の神楽	8月第4土曜	三柱神社	惣四郎神楽ともいわれ、惣四郎という人が伝えたといわれています。

	神楽舞名 獅子舞名	奉納日 (舞う日)	会場	創立年代・伝承由来
長 浦 地 区	竹の通りの 神楽	9月中旬の土曜 (敬老の日の頃)	神明宮	天明年間(1781~1789)に五穀豊穡、家内安全を願う村上の旅商人から習ったといわれています。頭は村上藩主お抱えの彫刻師が制作したと伝わっています。
	下土地亀の 神楽	9月中旬の土曜 (敬老の日の頃)	神明宮	天保年間(1830~1845)の始まりと伝わっています。神楽の詞には、他門の神楽と同じ詞があるなど、他門の神楽の影響を受けた神楽のようです。
	上堀田の神楽	8月下旬	堀田神社	始まりも伝播経路も不明です。長く中断していましたが、2019(令和元)年に復活しました。獅子頭は「女神楽」といわれています。
木 崎 地 区	内島見の神楽 (市指定文化財)	4月17日 9月第3土曜	観音堂	明治初期、信州の旅芸人から習ったと伝わり、衰退したときは、新発田塚の目の八之丞から習い復活したといわれています。動作が静かめでめでたい詞が多いので「歌神楽」とも言います。
	木崎の神楽	9月第3土曜 ・日曜	三柱神社	明治初期、会津の人力車夫より伝授されたと伝わっています。黒塗りの獅子頭は珍しく、「男神楽」ともいわれています。
	御山 伊佐弥神楽	9月第2土曜	豊田神社 (尾山)	始まりは江戸時代と伝わりますが、戦後まもなくから中断しました。昔、尾山から新崎へ神楽を伝えたという伝承から、新崎の指導を受け2016(平成29)年に復活しました。
濁川地区	新崎 伊佐弥神楽	4月9日 8月27日	諏訪神社	1847(弘化4)年に伊藤権次郎が悪魔退散と豊作を祈願して、諏訪神社に奉納したのが始まりと伝わっています。そのほか尾山や高森から習ったと伝わります。
葛 塚 地 区	他門の神楽 (市指定文化財)	9月7・8日	稲荷神社	1761(宝暦12)年、六斎市が許可され、サンバイ(横俵)を頭に載せて舞ったことが始まりと伝わっています。
	正尺の神楽 (市指定文化財)	9月6日	石動神社	1834(天保5)年、悪魔退散や豊作祈願のため、村上の一平という彫刻師から獅子頭を製作してもらったと伝わっています。舞は木崎から習い、四ツ切舞は信州の旅芸人から教わったといわれています。



内沼の獅子舞



木崎の神楽



他門の神楽